



Mini Disclosure

2023年9月中間期

第150期 ミニディスクロージャー誌

営業の中間ご報告

2023年4月1日から2023年9月30日まで



静岡中央銀行

お客様・地域社会と共に発展し ベストパートナーとして信頼される銀行を目指して

皆さまには、日頃より静岡中央銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、静岡中央銀行をより一層ご理解いただき、さらに身近に感じていただくため、2023年9月中間期ミニディスクロージャー誌「第150期営業の中間ご報告」を作成しましたので、ご一読いただければ幸いと存じます。

当行は、2022年4月より2年間を計画期間とする第14次中期経営計画「深化」をスタートいたしました。

基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、持続可能なビジネスモデルの深化を図っていくとともに、お客様と地域に寄り添いながらニーズや課題にお応えする（解決する）努力を続けていくことで、地域金融機関として、「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」であることを役職員一丸となって目指してまいります。

今後も、皆さまのベストパートナーとして、幅広いお客様のニーズに迅速かつ適切に対応し、地域金融機関としての役割を果たせるよう努めてまいりますので、皆さまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月



取締役社長

清野 真司

当行の概要

- 名 称 株式会社静岡中央銀行
- 本店所在地 沼津市大手町4丁目76番地
- 設 立 1926年(大正15年)11月12日
- 資 本 金 20億円
- 店 舗 数 43店舗（うち出張所5）
- 従 業 員 数 447人

（2023年9月30日現在）

目 次

- ごあいさつ・当行の概要 …… 1
- 第14次中期経営計画 …… 2
- 業績ハイライト …… 3
- 地域の皆さまと共に …… 5
- 連結財務諸表 …… 11
- 単体財務諸表 …… 12
- 株式/役員/連結子会社の状況 …… 13
- 店舗のご案内 …… 14

- 当行は、2022年4月より第14次中期経営計画「深化」～持続的成長に向けた挑戦～をスタートいたしました。基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、ビジネスモデルである訪問頻度管理を深化させ、外部環境・内部環境や認識する課題等を踏まえた新たな施策にも積極的に取り組むことで「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」を目指してまいります。



第14次中期経営計画

深化 持続的成長に向けた挑戦

期間／2022年4月～2024年3月(2年間)

経営理念
堅実で健全な経営

目指す銀行像
お客様・地域社会と共に発展し
ベストパートナーとして
信頼される銀行

基本方針

お客様中心主義の深化

「ビジネスモデル＝訪問頻度管理」を深化させ、お客様と地域に寄り添って
ニーズや課題に応える(解決する)ことで、共に発展を目指す。

5つの基本戦略

I お客様中心主義の実践

1. 信頼される行動の実践
2. 3つのCCの実践
3. お客様・地域社会の発展に貢献し利便性の高い商品サービスの拡充

II 営業改革の実践

1. 訪問頻度管理のステップアップ
2. 金融仲介機能の発揮と地域経済活性化への貢献
3. 預貸併進とロイヤルティの高いお客様の拡大

III 業務改革への挑戦

1. 生産性向上に向けた業務改革
2. 経費の最適化と環境保全への取り組み
3. 店舗戦略

IV 活力ある人事戦略

1. 挑戦する人材の育成
2. 人事制度・採用体制の最適運用・強化
3. 行員ロイヤルティ・働きがい向上による活力アップ

V 経営基盤の強化

1. 基礎的利益的持続的拡大
2. 安定的な有価証券収益の確保
3. 経営管理の強化

行動指針

Passion(熱意)& Team support(チーム対応)

用語
解説

「CC」とは？

Customer Centric(カスタマーセントリック)の略語で、「お客様中心主義」を意味します。
「お客様(カスタマー)を中心(セントリック)に」物事を考え、判断し、行動することを指します。

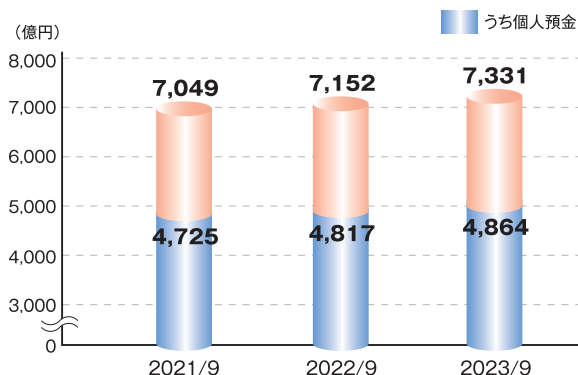
「ロイヤルティの高いお客様」とは？

将来にわたって当行に利益をもたらす行動意図があるお客様のことです。
①他に選択肢があるにもかかわらず当行を選んでいただけるお客様
②当行との取引を永く続けていただけるお客様
③友人・知人・親戚に当行を紹介したり取引を奨めていただけるお客様
④不平・不満があったら正しく伝えてくださるお客様

■預金残高

～年間増加率2.5%～

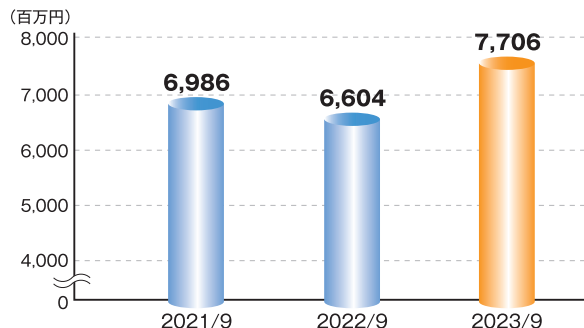
店頭・店周営業の着実な実践によって、個々のニーズやライフステージに応じた商品・サービスの提供に努めたこと等により、預金残高は前年同期末比179億円2.5%増加の7,331億円となりました。



■経常収益

～2年振りの増収～

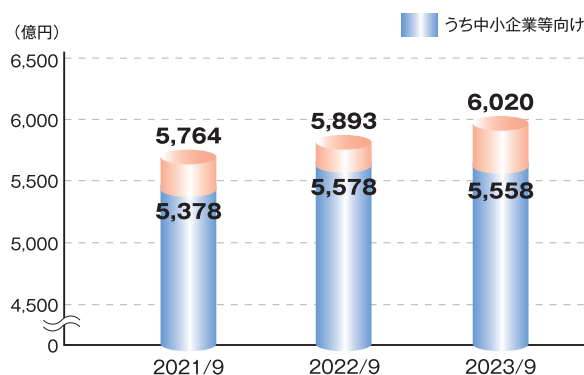
貸出金利息、役務取引等収益が増加するなど本業が堅調に推移したこと等により、経常収益は前年同期比11億2百万円16.6%増収の77億6百万円となりました。



■貸出金残高

～年間増加率2.1%～

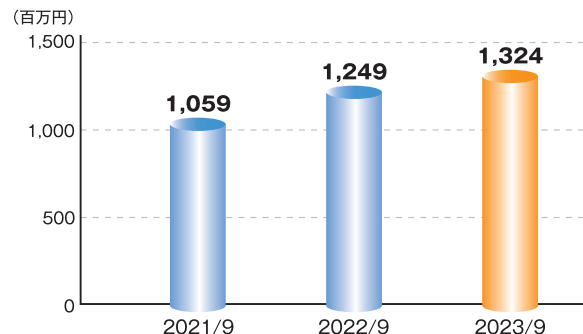
定期的な顧客訪問によって金融仲介機能の発揮に努め、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたお客様への継続的な金融支援等により、貸出金残高は前年同期末比126億円2.1%増加の6,020億円となりました。



■中間純利益

～3年連続の増益～

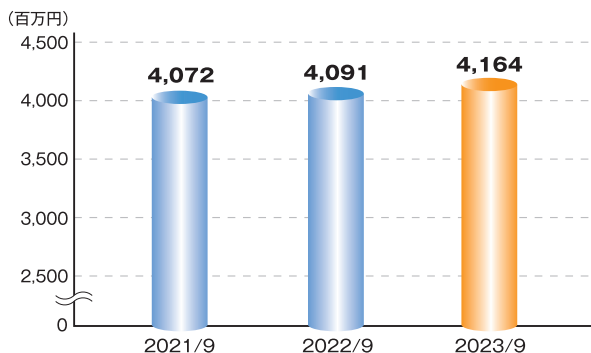
与信費用等が増加したものの、本業が堅調に推移したこと等により、中間純利益は前年同期比75百万円6.0%増益の13億24百万円となりました。



■ 預貸金利益（貸出金利息－預金利息）

～5年連続の増益～

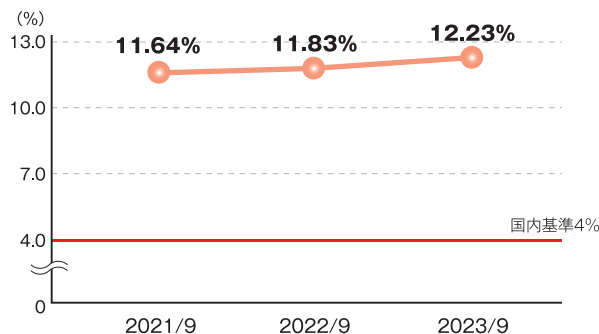
貸出金残高の着実な増加によって、貸出金利息が5年連続で増加したこと等により、預貸金利益は前年同期比73百万円1.7%増益の41億64百万円となりました。



■ 自己資本比率（国内基準）

～高水準の自己資本比率を堅持～

自己資本比率は12.23%と国内基準の4%を大きく上回り、高水準の自己資本比率を堅持しております。

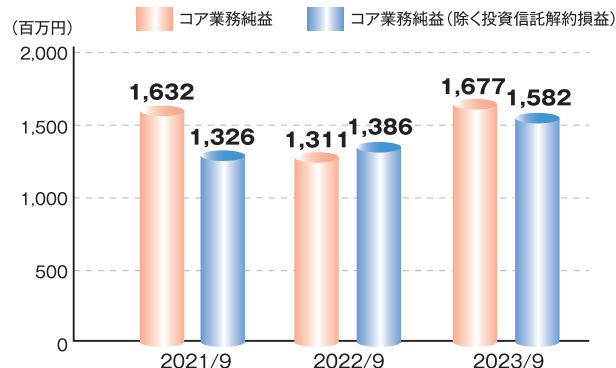


■ コア業務純益

～本業利益は着実に増加～

預貸金利益、役務取引等利益が増加したこと等により、本業の収益力を示す投資信託解約損益を除くコア業務純益は15億82百万円と堅調に推移しております。

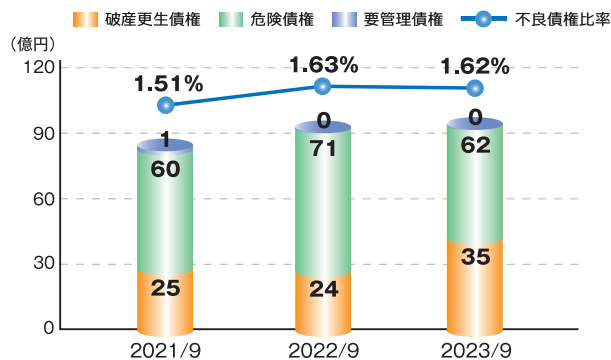
コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益



■ 不良債権の状況

～1%台 高い健全性を維持～

金融再生法開示債権およびリスク管理債権は98億38百万円となり、総与信残高に占める割合は1.62%となりました。なお、同債権の90.29%を担保等でカバーしております。



地域密着型金融の推進

●事業性評価向上による本業支援とコンサルティング機能の発揮

本業支援による金融仲介機能の発揮

当行では、地域金融機関の使命として、従来以上にマーケティングや外部専門機関との連携を強化し、地域のお客様に対する円滑な資金供給、各種ソリューションの提供等により、金融仲介機能の発揮に努めております。

今後も「訪問頻度管理」によるお客様への定期的な訪問を徹底し、「本業支援ヒアリングシート」※を活用することで、取引先の事業内容やニーズ等の把握に努め、そのニーズに対する迅速な対応、各種情報提供等に積極的に取り組んでまいります。

※取引先の事業性や成長可能性等を適切に評価し、助言・支援する当行独自のツール。



外部専門機関との連携強化

当行では、お客様の事業承継・M&A・相続・補助金申請サポート等、より専門的なニーズに対し、外部専門機関と連携しながら積極的に対応しております。

● 事業承継無料診断サービス

当行が業務提携している外部専門機関が、自社株評価や事業承継に関わる課題および解決の方向性について“無料”で提案書を作成し、お客様にとって最適な手段をご提案いたします。

● 外部専門機関との連携強化（2023年10月31日現在 68社と業務提携）

お客様の専門的なニーズに対応するため、各分野で多くの支援実績がある外部専門機関と業務提携契約を締結しております。

今後も、業務提携先・業務提携分野を順次拡大し、お客様の課題解決のサポートに積極的に取り組んでまいります。



提携分野

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 相続・事業継承・M&A | ⑥ リース関連 |
| ② 補助金申請 | ⑦ システム導入関連 |
| ③ 人材紹介 | ⑧ 節税関連 |
| ④ 建設・不動産関係 | ⑨ 企業支援・コンサル関連 |
| ⑤ 販路開拓 | ⑩ 経費削減関連 他 |

大和商工会議所との「事業承継支援に関する覚書」締結

2023年6月に大和商工会議所（神奈川県大和市）と地域における事業承継支援に係る連携を円滑に行い、地域経済活性化を図ることを目的とした、「事業承継支援に関する覚書」を締結いたしました。

今後は、会員企業の事業承継ニーズに対し、当行の広域な店舗ネットワークや業務提携する外部専門機関を生かしたサポートを行い、地域の事業承継を全面的にバックアップしてまいります。



大和商工会議所
本田会頭

当行
青島常務

「しずちゅうビジネスクラブセミナー」開催

2023年11月～12月に「しずちゅうビジネスクラブセミナー」を3会場（沼津市、横浜市、掛川市）で開催いたします。

本セミナーでは、株式会社モスフードサービス元会長の櫻田厚氏を講師にお招きし、『創業の心を次世代に引き継ぐ』と題し、ご講演いただきます。

「しずちゅうビジネスクラブ」では、会員の皆さまへの各種情報提供、セミナーの開催、会員間の交流等、様々なお手伝いを行っております。

今後も、価値ある情報と経営支援サービスの提供等により、地域社会の発展に貢献できるよう努めてまいります。

SEC しずちゅうビジネスクラブ

ビジネスクラブセミナー 開催のご案内



創業の心を次世代に引き継ぐ

モスフードサービス 元会長 櫻田 厚氏

コロナ禍で大打撃を受けた外食業界にあって好調の続くモスフードサービス。会長を務めた櫻田厚氏は1972年、叔父の櫻田健氏が立ち上げた同社の創業期から事業に携わり続けました。97年には創業トップ・櫻田健氏が急死し、社内に不安が広がる中で、98年に社長へ就任。2016年には全職退出の母・同健氏に社長職を譲り、次世代に経営を引き継ぎました。圧倒的なカリスマを持っていた創業者の死後、櫻田氏はいかにして転機を乗り切ったのでしょうか。そして、次世代の経営陣をいかに育ててきたのでしょうか。モスフードサービスと歩んだ50年を櫻田氏が語ります。

■講演プロフィール
1951年、東京都出身。70年に都立印刷高等学校を卒業後、父親の希望で大学進学を断り、在学中に父に入社。2代目、叔父の櫻田健氏が立ち上げたモスフードサービスの創業に参加し、7年間専任入社。98年には海外事業本部として香港に転任し、モスバーガーのアジア事業の礎を築く。94年に取締役、98年社長、2014年会長兼社長、18年に現任の専任取締役社長にトップ昇格後、20年からは会長を務め、22年6月にモスフードサービスを退社。23年7月よりJDAにて、CNEに所属し、講演活動などを行っている。

■ビジネスクラブセミナー 15:00～17:00 ■懇話会 17:00～19:00

開催日	会場	会場
11月24日(金)	沼津	沼津リバーサイドホテル 4階 秀麗 (沼津市沼津市上芝100-1)
12月6日(水)	横浜	横浜ロイヤルパークホテル 宴会棟3階 東階 (神奈川県横浜市中区みなとみらい2-2-1-3)
12月12日(火)	掛川	掛川グランドホテル 3階 シャングリスイート (静岡県掛川市堀ノ木4-1-1)

●地域に根差した地域貢献活動の取り組み

「第11回しずちゅう旗 静岡県学童軟式野球大会」開催

当行では、2012年より学童の心身の健全な育成支援のため、「しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会」に特別協賛しており、2023年は6月に開催（約260チームが参加）いたしました。

また、同予選会を対象に「はつらつプレーフォトコンテスト」を開催し、入賞作品のホームページへの掲載や当行本支店での写真展も開催しております。

今後も、学童の健全な成長を応援し、地域社会の発展に貢献してまいります。



第11回大会優勝チーム 静岡レッドソックススポーツ少年団

「富士山フォトコンテスト」開催

当行では、1958年以来、富士山の風景写真を使用したカレンダーを毎年発行しており、大変ご好評をいただいております。

また、2011年5月より“ふじのくに”静岡の魅力を県内外に紹介し、地域経済活性化を目的とした「富士山フォトコンテスト」を開催しており、最優秀賞作品を当行のカレンダーに採用しております。



上記フォトコンテスト受賞作品は、当行ホームページにてご覧いただけます。

当行ホームページのトップページにある **富士山ギャラリー** または **しずちゅう旗学童軟式野球大会の開催について** のバナー、もしくはQRコードからご覧ください。

「富士山ギャラリー」



「しずちゅう旗学童軟式野球大会」



サステナビリティへの取り組み

●サステナビリティ方針

「サステナビリティ方針」の策定

2023年4月に「サステナビリティ方針」を策定し、当行のサステナビリティに対する基本的な考え方を明示いたしました。本方針に則り、今後も持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

サステナビリティ方針
静岡中央銀行は、経営理念「堅実で健全な経営」に基づく企業活動を通じて、気候変動・環境問題等の社会的課題の解決に取組み、地域経済の発展と当行の企業価値向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

●SDGsへの取り組み

静岡中央銀行SDGs宣言
静岡中央銀行は、国際連合が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の趣旨に賛同し、経営理念「堅実で健全な経営」のもと、企業活動を通じて地域の課題解決と持続可能な社会の実現に努めてまいります。

重点取組方針

【地域経済の持続的発展への貢献】
お客様のベストパートナーとして、金融仲介機能を発揮し、地域企業や地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

【多様な人材の活躍】
すべての役職員が活躍できるよう、環境整備、人材育成に取り組んでまいります。

【地域の環境保全】
お客様の環境保全に向けた取組みを支援し、自らも環境負荷低減に向けた取組みを推進してまいります。



SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは

SDGsとはSustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略で、2015年9月に国連サミットで採択され、「誰一人取り残さない」という理念に基づき、飢餓・貧困・健康・教育などの世界的な課題を解決するために、2030年までに国連加盟諸国が達成すべき17の目標と169のターゲットで構成された国際的な目標です。

●気候変動への対応

「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への賛同

2022年7月に「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への賛同を表明し、気候変動・環境問題への取組みを強化するとともに、TCFD提言を踏まえた気候変動リスク・機会に関連する情報開示の充実にも努めてまいります。

（CO₂ 排出量削減）

定 義	Scope1およびScope2※1に該当するCO ₂ 排出量
目 標	（中間目標）2030年度までに2013年度比▲46% （最終目標）2050年度までにカーボンニュートラル実現

※1
Scope1：（直接排出）車両によるガソリン使用、ガスの使用
Scope2：（間接排出）電気の使用

（サステナブル関連投融資）

定 義	気候変動・環境問題等の社会的課題の解決に向けた取組みを支援・促進する投融資
目 標	2023年度から2030年度までに500億円

2023年9月「番田支店」
新築リニューアルオープン（環境配慮型店舗）

当行では、2023年9月に「番田支店」（神奈川県相模原市）を新築リニューアルオープンいたしました。

新店舗は、店舗屋上に太陽光発電設備を設置し、建物内の照明等に電力を供給するほか、壁・床に耐久性、断熱性の高いメンテナンスフリーのセラミック製建材を使用した「環境配慮型店舗」とすることで、CO₂排出量の削減を実現します。

また、お客様に落ち着いた雰囲気の中でご相談していただけるよう、ロビー・応接室の面積を現店舗の2倍に拡大しております。



第150期中間連結貸借対照表
(2023年9月30日現在)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
資産の部	
現金預け金	102,126
有価証券	136,571
貸出金	602,031
その他資産	3,959
有形固定資産	8,391
無形固定資産	674
退職給付に係る資産	16
繰延税金資産	52
支払承諾見返	1,103
貸倒引当金	△4,525
資産の部合計	850,401
負債の部	
預金	731,352
借入金	51,900
その他負債	3,688
賞与引当金	376
退職給付に係る負債	188
役員退職慰労引当金	746
睡眠預金払戻損失引当金	5
偶発損失引当金	280
再評価に係る繰延税金負債	1,331
支払承諾	1,103
負債の部合計	790,973
純資産の部	
資本金	2,000
資本剰余金	0
利益剰余金	48,586
株主資本合計	50,587
その他有価証券評価差額金	5,820
土地再評価差額金	3,059
退職給付に係る調整累計額	△39
その他の包括利益累計額合計	8,840
純資産の部合計	59,427
負債及び純資産の部合計	850,401

第150期中間連結損益計算書
(2023年4月1日から2023年9月30日まで)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
経常収益	7,767
資金運用収益	5,460
（うち貸出金利息）	4,362
（うち有価証券利息配当金）	1,065
役務取引等収益	729
その他経常収益	1,577
経常費用	5,848
資金調達費用	197
預金利息	197
役務取引等費用	748
営業経費	3,539
その他経常費用	1,363
経常利益	1,918
特別利益	13
固定資産処分益	13
特別損失	16
固定資産処分損	16
税金等調整前中間純利益	1,915
法人税、住民税及び事業税	772
法人税等調整額	△241
法人税等合計	530
中間純利益	1,385
親会社株主に帰属する中間純利益	1,385

第150期中間連結株主資本等変動計算書
(2023年4月1日から2023年9月30日まで)

科 目	株 主 資 本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	2,000	0	47,198	49,199
当中間期変動額				
剰余金の配当			△60	△60
親会社株主に帰属する中間純利益			1,385	1,385
土地再評価差額金の取崩			62	62
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）				
当中間期変動額合計	—	—	1,387	1,387
当中間期末残高	2,000	0	48,586	50,587

科 目	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	3,512	3,121	△50	6,583	55,783
当中間期変動額					
剰余金の配当					△60
親会社株主に帰属する中間純利益					1,385
土地再評価差額金の取崩					62
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	2,307	△62	11	2,256	2,256
当中間期変動額合計	2,307	△62	11	2,256	3,644
当中間期末残高	5,820	3,059	△39	8,840	59,427

第150期中間貸借対照表
(2023年9月30日現在)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
資産の部	
現金預け金	102,131
有価証券	135,338
貸出金	602,031
その他資産	3,877
有形固定資産	8,227
無形固定資産	673
繰延税金資産	103
支払承諾見返	1,103
貸倒引当金	△4,387
資産の部合計	849,099
負債の部	
預金	733,173
借入金	51,900
その他負債	2,148
賞与引当金	376
退職給付引当金	115
役員退職慰労引当金	746
睡眠預金払戻損失引当金	5
偶発損失引当金	280
再評価に係る繰延税金負債	1,331
支払承諾	1,103
負債の部合計	791,180
純資産の部	
資本金	2,000
資本剰余金	0
利益剰余金	47,293
株主資本合計	49,294
その他有価証券評価差額金	5,564
土地再評価差額金	3,059
評価・換算差額等合計	8,624
純資産の部合計	57,918
負債及び純資産の部合計	849,099

第150期中間損益計算書
(2023年4月1日から2023年9月30日まで)

(単位：百万円)	
科 目	金 額
経常収益	7,706
資金運用収益	5,467
（うち貸出金利息）	4,362
（うち有価証券利息配当金）	1,071
役務取引等収益	664
その他経常収益	1,574
経常費用	5,882
資金調達費用	197
預金利息	197
役務取引等費用	821
営業経費	3,525
その他経常費用	1,338
経常利益	1,823
特別利益	13
固定資産処分益	13
特別損失	16
固定資産処分損	16
税引前中間純利益	1,821
法人税、住民税及び事業税	735
法人税等調整額	△239
法人税等合計	496
中間純利益	1,324

第150期中間株主資本等変動計算書
(2023年4月1日から2023年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	株 主 資 本									
	資本金	資本剰余金		利益剰余金						株主 資本 合計
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金				利益 剰余金 合計	
					役員退職 積立金	有価証券償却 準備積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	2,000	0	0	2,000	1,000	2,750	37,608	2,607	45,966	47,967
当中間期変動額										
剰余金の配当								△60	△60	△60
別途積立金の積立							2,000	△2,000	—	—
中間純利益								1,324	1,324	1,324
土地再評価差額金の取崩								62	62	62
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）										
当中間期変動額合計	—	—	—	—	—	—	2,000	△672	1,327	1,327
当中間期末残高	2,000	0	0	2,000	1,000	2,750	39,608	1,934	47,293	49,294

科 目	評 価 ・ 換 算 差 額 等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	3,396	3,121	6,518	54,485
当中間期変動額				
剰余金の配当				△60
別途積立金の積立				—
中間純利益				1,324
土地再評価差額金の取崩				62
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	2,168	△62	2,106	2,106
当中間期変動額合計	2,168	△62	2,106	3,433
当中間期末残高	5,564	3,059	8,624	57,918

株式の状況 (2023年9月30日現在)

- 発行する株式の総数 96,000千株
- 発行済株式の総数 24,000千株
- 株主数 1,473名

大株主の状況 (2023年9月30日現在)

株主の氏名または名称	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
損害保険ジャパン株式会社	2,539	10.58
静岡中央銀行行員持株会	1,624	6.76
東京海上日動火災保険株式会社	1,385	5.77
株式会社三菱UFJ銀行	1,200	5.00
株式会社大林組	1,200	5.00
野村ホールディングス株式会社	1,200	5.00
三信株式会社	1,200	5.00
オークラヤ住宅株式会社	1,200	5.00
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,148	4.78
東洋電機製造株式会社	1,110	4.62

株式のご案内

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月に開催予定
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-232-711 (フリーダイヤル)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

役員の状況 (2023年9月30日現在)

代表取締役社長	清 野 眞 司
代表取締役専務	林 道 弘
常 務 取 締 役	高 地 尚 之
常 務 取 締 役	芦 川 哲 也
常 務 取 締 役	加 藤 貢
常 務 取 締 役	野 中 久 記
常 務 取 締 役	青 島 厚 志
常 務 取 締 役	守 分 宏 一
常 務 取 締 役	小 森 博 史
取 締 役	渡 邊 芳 和
取 締 役	浅 賀 友 秋
取 締 役	金 子 良 雄
取 締 役	名 波 忠 広
取 締 役	増 田 和 彦
取 締 役	内 海 順 太
取 締 役	平 山 浩 二
取締役(社外取締役)	藤 田 燈
常 勤 監 査 役	田 代 信 幸
常 勤 監 査 役	土 居 敏 彦
監査役(社外監査役)	林 宣 男
監査役(社外監査役)	熱 田 稔 敬

連結子会社の状況 (2023年9月30日現在)

名 称	所在地	主な業務内容	資本金
静岡中央信用保証株式会社	沼津市上土町1番地の1	信用保証・調査業務	330百万円
岳洋産業株式会社	沼津市大手町4丁目76番地	静岡中央銀行への不動産賃貸及びATM精査業務	10百万円

店舗のご案内（2023年11月30日現在）



静岡県

本店営業部 沼津市大手町4丁目76番地	(055) 962-6111	御殿場支店 御殿場市新橋1917番地の1	(0550) 82-1345	焼津支店 焼津市本町2丁目1番1号	(054) 628-4125	熱海支店 熱海市銀座町10番23号	(0557) 81-6191
サントム〜柿田川出張所 駿東郡清水町玉川61番地の2	(055) 973-5888	吉原支店 吉原市吉原2丁目4番4号	(0545) 52-5125	島田支店 島田市本通3丁目6番1号	(0547) 37-3161	伊東支店 伊東市中央町10番8号	(0557) 37-6636
沼津北支店 沼津市東町3番3号	(055) 921-1766	富士支店 富士市本町13番17号	(0545) 61-1904	浜松支店 浜松市中区伝馬町313番地の21	(053) 454-6201	稲取支店 賀茂郡東伊豆町稲取708番地の1	(0557) 95-1200
沼津東支店 沼津市三枚橋杉崎町426番の2	(055) 923-7221	富士宮支店 富士宮市ひばりが丘1124番地	(0544) 26-8121	浜松北支店 浜松市中区幸1丁目3番7号	(053) 472-2241	下田支店 下田市2丁目10番17号	(0558) 22-3331
三島支店 三島市本町7番26号	(055) 975-2300	静岡支店 静岡市葵区常盤町2丁目1番地の5	(054) 253-2125	浜松東支店 浜松市東区篠ヶ瀬町字作間前1243番地	(053) 421-3155	南伊豆出張所 賀茂郡南伊豆町下賀茂174番地の1	(0558) 62-0025
長泉支店 駿東郡長泉町中土狩347-1	(055) 986-3030	マーウイズ静岡出張所 静岡市葵区柚木1026	(054) 262-6611	磐田市支店 磐田市中泉622番地3	(0538) 34-2211	松崎支店 賀茂郡松崎町松崎375番地の4	(0558) 42-0280
修善寺支店 伊豆市柏久保553番地の1	(0558) 72-2145	清水支店 静岡市清水区万世町2丁目6番16号	(054) 352-0191				

神奈川県

川崎支店	(044) 244-7321 川崎市川崎区東田町8番地 (レール三井ビルディング10F)	香川支店	(0467) 57-7111 宇ヶ崎市香川4丁目44番5号	寒川支店	(0467) 74-1510 高座郡寒川町倉見482番の3	綾瀬支店	(0467) 76-4141 綾瀬市深谷上6丁目16番22号
横浜支店	(045) 751-6100 横浜市磯子区丸山2丁目5番1号	湘南モータル出張所 (0466) 34-7015 藤沢市辻堂新町4丁目1番1号	座間支店	(046) 254-3151 座間市入谷西2丁目56番8号	番田支店	(042) 778-4177 相模原市中央区上溝367番地の6	
中山支店	(045) 934-1161 横浜市緑区青島町172番地4	小田原支店	(0465) 22-9201 小田原市栄町1丁目16番35号	平塚支店	(0463) 54-1100 平塚市横内2291番地	厚木支店	(046) 233-8500 厚木市中新田2丁目14番1号
善行支店	(0466) 82-2311 藤沢市善行1丁目23番地の4	渋沢支店	(0463) 88-3555 奈沢市曲中2丁目2番15号	中央林間支店	(046) 274-1115 大和市中央林間3丁目1番10号	らぽーと海老名出張所 (046) 235-2251 海老名市厚岸13番11号	

東京都

東京支店 (03) 5860-1615
港区愛宕1丁目3番4号(愛宕東洋ビル7F)

住宅ローンセンター

岳麓住宅ローンセンター (055) 962-3300 沼津市大手町4丁目7番6地	岳清住宅ローンセンター (054) 262-3232 静岡市委区袖木1026 (マークイズ静岡出張所内)	遠州住宅ローンセンター (053) 454-6220 浜松市中区伝馬町313番地の21 (浜松支店内)
湘南住宅ローンセンター (0466) 34-7078 横浜市芝堂新4丁目1番1号 (湘南モールビル出張所内)	湘南住宅ローンセンター(海老名) (046) 206-6015 海老名市馬場13番1号 (ららぽーと海老名出張所内)	

“お客様・地域社会と共に発展しベストパートナー
として信頼される銀行”を目指します。



静岡中央銀行

表紙の
写真

2024年カレンダー 富士山フォトコンテスト
最優秀賞「幻想桜富士」宮崎 泰一氏 撮影

雲海に浮かぶ富士山。前景には満開の桜。安定感のある画面中央に、たなびく雲海を配置し、全体を幻想的に表現することで優雅な作品に仕上がっています。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に配慮し、植物インクを
使用しています。

THE SHIZUOKACHUO BANK,LTD.

■発行 2023年12月

株式会社静岡中央銀行/経営管理部

〒410-0801 沼津市大手町4丁目76番地

TEL.055-962-6113

■ホームページアドレス

<http://www.shizuokachuo-bank.co.jp/>